

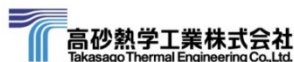
## 導入事例

## 高砂熱学工業株式会社 様

導入サービス

- ADFS on Cloud
- Microsoft Office 365 導入・運用支援サービス

## お客様プロフィール



高砂熱学工業株式会社  
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

所在地	東京都千代田区 神田駿河台四丁目2番地5
設立	1923年11月16日
代表者	取締役社長 大内 厚
URL	http://www.tte-net.co.jp/



管理本部  
情報システム部長  
古谷 元一 氏



管理本部  
情報システム部  
部長  
小松 久芳 氏



管理本部  
情報システム部  
主任  
島田 健章 氏

空調設備工事におけるパイオニアとして知られる高砂熱学工業株式会社（以下、高砂熱学工業）では、国内外のグループ会社が利用する統合コミュニケーション基盤としてMicrosoft Office 365（以下、Office 365）を採用。その経緯とポイントについて話を聞いた。

「5,000ユーザに及ぶグループコミュニケーション基盤を Office 365 と ADFS on Cloud の連携で構築。

認証システム構築、海外拠点のサポートなど、ワンストップで任せられるのはソフトバンク・テクノロジーだけでした。」



## 導入のポイント

- 海外拠点を含めたグループの統合コミュニケーション基盤として Office 365 を採用
- ADFS on Cloud により、セキュリティと利便性を両立した認証システムを実現
- SharePoint Online や Lync Online によるコミュニケーション効率化と活性化に期待

## 抱えていた課題、解決したかったこと

## 外部アクセスのセキュリティ確保と SharePoint 移行が、Office 365 導入時の課題に

高砂熱学工業では、本社オフィスの移転・統合を契機に15年来利用してきたノート環境を刷新。移転にあたり、情報システム部が掲げたコンセプト「集中とコントロールの強化」を実現するために、サービスの検討を行っていた。

社内での構築も検討したが、運用・保守の面から「5年後も最新のものが使える」クラウドサービスの導入を決定。Office 365 を採用し、グループ全体で5,000ユーザが利用する予定の統合コミュニケーション基盤を構築した。

設計の段階で問題となったのは、「社外から Office 365 を利用する際の安全性と利便性の両立」と「SharePoint Online（以下、SharePoint）のコンテンツをどのように活用していくのか」という2つのポイントだった。

出先や作業現場で作業をすることが多いため、モバイル端末や海外拠点などに対応し、ユーザにとっても簡易な認証システムの構築は必須。また、1,600 DBにもおよぶノーツの既存資産を、どのように移行するかも大きな課題だった。

- 既存グループウェアの刷新に伴い、Office 365 への移行を決断
- クラウドサービス導入には、社外からのアクセス簡易化とセキュリティ確保の両立が必須
- 膨大な既存コンテンツの SharePoint への移行が課題

## 導入の要件

### 認証システムの充実や海外拠点も含めたサポート体制など、幅広い領域をベンダーへ期待

同社で本格的なクラウド環境を採用するのは初のケースであり、SharePoint や Lync Online の活用を考えれば、単年ですべて完了することは難しいと考えていた。そのため、長期間のパートナーとして協力関係を築くことができるサポートベンダーを求めている。

また、Office 365 の導入に関するサポートベンダーへの要望は、ノーツから Office 365 への切り替え実績、SharePoint に関する理解や実績はもちろん、認証システム構築や海外拠点も含めたサポート体制など、幅広い領域にわたるものとなった。

- Office 365 や SharePoint の移行に関する理解や実績は必須
- セキュリティと利便性を確保できる認証システムの構築も必要
- 海外拠点も含めて対応できるサポート・運用体制を期待

## ソフトバンク・テクノロジーを選んだ理由

### 導入経験や開発実績に基づいたトータルでの提案とサポート体制を評価

同社の要求に対し、ソフトバンク・テクノロジーは、Office 365 における豊富な導入実績や ADFS on Cloud 等の連携ソリューションを開発している技術力をもとに、構築からヘルプデスクでの海外拠点を含むサポートをトータルで支援する提案を実施した。懸念していたセキュリティの課題は、クラウド上でアクセス制御を実現可能な ADFS on Cloud で解決する案を提示。

Office 365 と他社のワークフロー製品なども含めた統合コミュニケーション基盤の構築を提案し、クラウドへの移行メリットとデメリット明確に整理できたことで、同社は新たに SharePoint 環境でコンテンツを充実させていく方向へ方針転換する決断をすることができた。

- 社外からの安全なアクセス環境や認証システムの構築で課題解決
- 統合的な提案により、既存コンテンツを移行するのではなく、SharePoint による新コンテンツ拡充への方針転換を決断

## 導入効果と今後の展望

### さらなる情報共有環境の充実に向け、ソフトバンク・テクノロジーのサポートに期待

導入後、同社は本社や海外を含めた主要拠点における Exchange Online へのメール環境移行、SharePoint でのポータル環境整備を完了。

メールボックスの容量アップや予定表の活用などユーザの利便性が向上したほか、システムの開発・運用保守・グループ会社への横展開にかかる手間とコストの削減など、システム運用面でも大きな効果を上げているという。

「今後は、Lync Online の活用による国内外のコミュニケーションの効率化や移動時間を含む出張コストの削減。さらには、SharePoint コンテンツの拡充による情報共有環境の再構築を図っていきたい」と語る古谷氏。

Office 365 から広がるグローバルコミュニケーションによる波及効果は、さらに大きいものになると期待を寄せた。



(写真 右より) ソフトバンク・テクノロジー株式会社 関沢 秀典、鈴木 昭彦、石野 賢

- クラウド環境への移行により運用負荷の軽減、利便性の向上を実現し、エンドユーザ、システム管理者ともに導入効果を実感
- Lync Online の活用によるグローバルコミュニケーションの活性化、コストの削減などさらなる活用を推進
- SharePoint によるコンテンツ拡充を推進し、情報共有環境の充実を加速

## お客様窓口

### SBテクノロジー株式会社

〒160-0022

東京都新宿区 6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階

TEL : 03-6892-3154  
E-MAIL : sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp  
URL : <https://www.softbanktech.co.jp/>